

2011年度
近畿YOC審判講習会
参加者報告書

-
- 【日時】 2011年8月6日（土）～8月7日（日）
【場所】 大阪教育大学柏原キャンパス体育館
【大会】 第49回近畿地区国立大学体育大会
【参加者】 （京都からの講習生）水田 恵子・大溝 貴広

1. 報告者		水田 恵子		
2. 従事した試合				
	回戦	Aチーム	VS	Bチーム
	主審		副審	講師
①	女子2回戦	大阪教育大学	VS	神戸大学
	水田(京都)			島田氏(兵庫)
②			VS	
③			VS	
3. 感想				
<p>私用により、一日しか参加できずご迷惑おかけして、大変申し訳ありませんでした。</p> <p>今回、近畿 YOC に参加させて頂いて、参加者の審判に対する意識の高さを実感しました。また、講師の方からも丁寧なアドバイスを頂き、審判の心構え・役割・技術を教えていただきました。</p> <p>今まで、ビジョンの取り方・立ち位置がよくわからず、自分では動いているつもりなのに、毎回同じ反省をもらうことがありました。マニュアル通りに動いているのになぜだろうという疑問がありました。しかし今回、ここで見てはいけない場所、見ることの優先順位・タイミングを教えてもらい、後は自分で経験して、自分のベストポジションと周りが見て納得するポジションを模索していくことが大切だと思いました。審判には「お手本どおり」という感覚がないから難しいのだと思います。その反面、個性が出るから面白いとも取れます。色んな方々の審判を見て、自分なりの審判を研究していきたいです。</p> <p>今回の経験を生かし、選手・ベンチ・観客から信頼される審判を目指し、努力していきます。</p>				

1. 報告者	大溝 貴広			
2. 従事した試合				
	回戦	Aチーム	VS	Bチーム
	主審	副審		講師
①	男子1回戦	大阪大学	VS	神戸大学
	吉村氏(奈良)	大溝(京都)	伊藤氏(京都)・大野氏(奈良)	
②	男子2回戦	大阪教育大学	VS	奈良教育大学
	大溝(京都)	元田氏(兵庫)	開氏(大阪)	
③			VS	
3. 感想	<p>今年度より公認審判員として活動を始めた自分にとって今回の近畿YOCに参加させていただいたことは大変貴重な経験となりました。</p> <p>二日間の講習会の中でコミュニケーションの必要性を実感しました。初めて顔を合わせる相手レフリー自身のこと、また試合を行うチームや選手についての情報を共有するためにもプレゲームカンファレンスのみではなく、オフ・ザ・コートでのコミュニケーションも必要だと感じました。</p> <p>第一日目は試合直前に相手レフリーが変わるといったこともあり、十分なコミュニケーションがとれないままゲームに臨んでしまいました。インターバル等に打ち合わせを行いましたが十分とは言えませんでした。また、ボール中心の動きや足が止まっていることなど以前からの課題も改めてご指導をいただき再確認することができました。</p> <p>第二日目は前日の反省を活かしプレゲームカンファレンスはもちろん、ゲーム以外のところでもコミュニケーションをとりました。試合に対する心構え、ポジショニングや基準の確認等十分話し合いを行うことでゲームの見え方が大きく変わったことに驚きました。また、反省では動き方など基本的なご指導もいただき今後の審判活動に活かしていきたいと思いました。</p> <p>同世代のレフリー達の審判に対する熱意や姿勢にとっても良い刺激を受けました。今後もよりよい審判活動が行えるように身の周りの環境を整えるとともに、審判をさせていただける環境に感謝し、オン・ザ・コートで最高の自分を出せるように目標を設定して少しずつステップアップしていきたいと思います。</p> <p>今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。</p>			